



TDS 2017
デザイン:ナナツチ
3~4人 10~40分 10歳~

プレイヤーは八百万の神の使いとして、手札を使って場の神託カードを獲得するか道として並べてレースを進めるかを選びます。規定のラウンド数を終えた後、獲得した神託カードや使命カードの達成状況に応じて神の恩恵(勝利点)が得られます。これを何回かくりかえし、最後にもっとも神の恩恵を多く得たプレイヤーが勝利します

・コンポーネント

神託カード	36枚(4色×9枚)	ガイドカード	2枚
使命カード	6枚		
スコアシート	4枚	ラウンドマーカー	1個
動物トークン		4個(4色×1個)	
得点マーカー		4個(4色×1個)	
ルールブック		1枚	

・カード解説



A. 神託カード

- ① 神託のつよさ
- ② 神託の属性。赤(サル)・青(イヌ)・黄(トリ)・黒(イノシシ)の4色があり、それぞれの動物に対応している。
- ③ この神託カードを道にしたとき、移動する動物の順番と種類。矢印とは逆側から、アイコン1つにつき1マス、対応する動物が矢印の方向に進む。
(このカードならサル、トリ、イヌの順番で1マスずすむ。)

B. 使命カード

達成すると、得点計算時に勝利点が手に入る。

大きく分けて2つの種類がある。



① レース結果系

得点計算時、動物トークンの最終順位を使命カード通りにできれば勝利点を得られる。左のカードなら、1位イノシシ、2位イヌなら12点を獲得する。さらにサルが3位なら獲得点が16点になる。



② 神託カード系

得点計算時、上段の条件を満たしていれば、下段に描かれているだけ勝利点を得られる。左のカードなら、条件を満たしていれば、獲得した神託カード1枚につき1点を獲得する。

・遊びかた

★セットアップ

- ・すべての神託カードを裏向きにしてよくまぜて、プレイヤー人数分だけ取り出す。その後、残った神託カードを各プレイヤーにすべて配り切る。これは手札となる。
- ・使命カードを各プレイヤーに1枚、裏向きのままランダムに配る。このカードは配られたプレイヤーのみが確認できる。
- ・スコアシートと得点マーカーを各プレイヤーに配る。
- ・ガイドカードを並べ、ラウンドマーカーを1の枠に置く。
- ・人数分取り出しておいた神託カードを、表向きにしてガイドカードの指示にそって横側に並べて置く。

以降、この場所のことを「託宣エリア」と呼ぶ。

- ・プレイヤー全員で十二支の動物を一気に発声し、もっとも早く言い切ったプレイヤーがスタートプレイヤーになる。もちろん、じゃんけんなど他の適当な手段で決めてよい。その後、ゲームを開始する。

○セットアップ終了時の図例



★ゲームの開始～ラウンドの流れ～

1. ラウンドの開始

※手札が0枚のプレイヤーは、得点計算まで全ての行動を行なうことができない。

スタートプレイヤーから時計回りの順番に、手札からカードを1枚選び、自分の手前に表向きに置く。この時、すでに他のプレイヤーが出したものと同じつよさのカードを置くことはできない。どうしても置けるカードがない場合は、手札から1枚を選び裏向きにして置くこと。

また、手番が最後のプレイヤーのみ、2枚カードを置き、0～10の間でまだ出ていない好きなつよさの数字を宣言し、そのカードを出したことにできる。

(宣言できる数字は、自分の出したカードとは無関係)

2. もっともつよさの高いカードを出したプレイヤーから順に、以下の行動を行うこと。

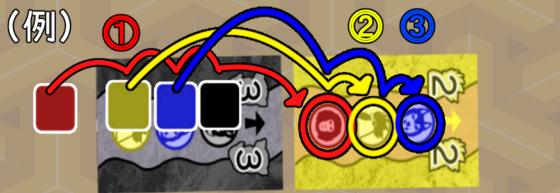
- A. 自分の出したカードを、託宣エリアの下に置く。
置けるのは神託カードが置いてある、もしくは置いてあった場所の下のいずれかとする。
- B. 託宣エリアにある一番左側のカードを「獲得する」か、「道にする」かを選ぶ。カードが2枚ある時はどちらか1枚を選び、残りはゲームから除外する。託宣エリアのカードが残り1枚で、なおかつこのラウンドに誰も道をつくっていない場合のみ、かならず「道にする」を選ばなくてはならない。



「獲得する」場合、そのカードを表向きのまま自分の手元に置くこと。

「道にする」場合、そのカードを表向きのまま託宣エリアの上側に置く。すでに道になったカードがあるなら、最も新しく道になったカードの頭(矢印が示す方向)に今回のカードの尻を接続する。

その後、道にしたカードの指示に従い、動物トークンを移動させる。(進み方はカード解説を参照)
動物トークンが同じマスに2個以上存在するような移動が起きる場合、さらに1つ先のマスへ移動させること。

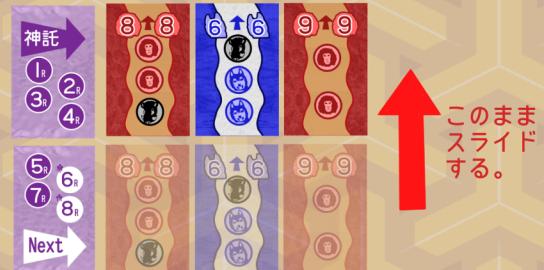


前に道にしたカード 今回道にするカード

*上記の場合、今回道にするカードの矢印がある方とは逆側にあるアイコンから処理をするため、まずサル(赤)が1マス進みます。他の動物がいるマスには止まれないので、3マスとばして4マス目に止まりました。次にトリ(黄)が、最後にイヌ(青)が同じように進みます。

カードを裏向きに出したプレイヤーはB。を行う代わりに、最後に残った託宣エリアのカードを手札に加える。ただし、まだこのラウンドで道がつくられていなければ、残ったカードを道にすること。

3. 託宣エリアのカードがなくなったら、託宣エリアの下に置かれたカードをそのまま託宣エリアに移動する。その後、「もっともつよさの低いカードを出したプレイヤー」(裏向きのカードを出したプレイヤーがいればその人)をスタートプレイヤーにして、次のラウンドにうつる。(1. ラウンドの開始に戻る。)



★得点計算とゲームの終了

3人なら8ラウンド、4人なら6ラウンドが終わった時点で、以下の順番で得点計算を行う。

A. 「獲得」したカードを属性ごとに分け、それぞれのつよさの合計を他のプレイヤーと比べて属性ごとの順位を出す。(1位・2位のつよさが同値ならその全員を1位・2位とする)その後、動物トークンの最終順位に応じて各属性の順位が1・2位のプレイヤーは対応属性のカード1枚ごとに以下の勝利点を得る

	対応する属性1位	対応する属性2位
1位の動物	1枚につき4点	1枚につき3点
2位の動物	1枚につき2点	1枚につき1点
4位の動物	1枚につき-3点	1枚につき-1点

(例) この場合、最終順位はイノシシ(黒)1位、イヌ(青)2位、トリ(黄)3位、サル(赤)4位となる。



Aさん(つよさ9) Bさん(つよさ1+4)

この場合、Aさんが属性1位なので対応するカード1枚で4点。Bさんが2位で対応するカード2枚で6点を得る

B. 使命カードを公開し、内容の達成に応じて勝利点を獲得する。

セットアップから得点計算の終了までを1レースとし、参加人数回(簡易ゲームなら2回、お試しなら1回)レースを行う。獲得した勝利点の合計が最も高いプレイヤーがゲームに勝利する。

△お問い合わせ

質問・感想などはこちらへ

ゲーム製作サークル TDS

ブログ : <http://tds-project.seesaa.net/>
twitterアカウント : @NanaTuchi